

甲佐町議会だより



清

流

第123号

平成19年11月15日

発行 甲佐町議会

発行責任者 議長 中村幸男

9月定例会



子どもたちの笑顔をお年寄りへ（白旗校区敬老会）

町長の所信表明・条例案件等②～③

論点 Q & A そこが知りたい④～⑤

一般質問3人 ここが聞きたい⑥～⑧

陳情・傍聴席から一言⑨～⑩

を使いました！ 9月 で継続審査 定例議会

住民の目線に立った甲佐町再生 奥名町長所信表明

平成19年9月定例会は、9月25日に招集され28日までの4日間の日程で開催されました。今定例会は、奥名町長の所信表明から始まり、平成18年度一般会計他各特別会計および水道事業会計決算の認定、平成19年度一般会計補正予算他各特別会計補正予算、条例案件、陳情案件などについて審議しました。

決算認定については、特別委員会を設置し閉会中の継続審議とすることとし、他の案件についてはいずれも原案通り可決しました。
なお、一般質問には、3人の議員が登場し町政全般について質問しました。

奥名町長所信表明



二、財政健全化に全力投球

- 町長の報酬10%カット
- 各年度定期採用を行うにつつ、職員数を削減
- 時差出勤などの導入
- 職員の意識改革ほか

四、町の活性化対策と美しい風景と特産品のあるまちづくり

- 農業の担い手育成と甲佐ブランドの開発
- 地域通貨（町内専用利用券）の発行
- 企業誘致推進に向けた税制優遇
- 府領地区へのETCインターチェンジの導入調査

五、環境を大切にすま

- 市町村設置型小型合併浄化槽事業の調査・研究
- 一般廃棄物の有料化
- バイオマスタウン構想の調査・研究

六、高齢者と子どもにやさしいまちづくり

- 生涯学習講座の充実
- 出会い応援事業の研究
- 乳幼児医療費の窓口無料化を町外医療機関まで拡大し、医療費助成の対象年齢を段階的引き上げ
- 障害者自立支援法の施行による利用者負担の軽減の検討
- 住宅マスタープランに即した定住促進事業や住宅開発支援事業の継続
- 空き家バンク情報をホームページ上で公開
- 介護老人ホーム（緑川荘）の民営化
- 生涯学習講座の充実
- 出会い応援事業の研究
- 乳幼児医療費の窓口無料化を町外医療機関まで拡大し、医療費助成の対象年齢を段階的引き上げ
- 障害者自立支援法の施行による利用者負担の軽減の検討
- 住宅マスタープランに即した定住促進事業や住宅開発支援事業の継続
- 空き家バンク情報をホームページ上で公開

一、情報公開と住民参加型の町づくり

- 町政座談会の実施
- インターネットのホームページを利用した、町民の方々の意見提案の場の提供
- 住民意向調査の実施
- 各種審議会・委員会に女性層や青年層を積極的に登用
- 入札制度の改革

三、教育の町「こうさ」の再生

- いじめ問題の解消と若年層リーダーの育成
- 総合型スポーツクラブの設立
- 学力向上対策事業の継続実施
- 甲佐高校存続に向けた町の協力体制の確立
- 生涯学習センター内の図書館蔵書の充実



県道三本松甲佐線の改良は

平成18年度
決算

95億5821万円

決算審査特別委員会

平成18年度決算総額（水道事業を除く）

歳入：100億1378万円 歳出：95億5821万円

平成18年度各会計歳入歳出決算額

会計別内訳	歳入	歳出	差引額
一般会計	51億5995万円	49億5410万円	2億0585万円
国民健康保険	16億5859万円	15億4251万円	1億1608万円
老人保健	19億9774万円	19億8908万円	866万円
介護保険	11億5226万円	10億3471万円	1億1755万円
有線放送	4433万円	3701万円	732万円
住宅新築貸付	90万円	79万円	11万円
合計	100億1378万円	95億5821万円	4億5557万円

水道事業会計

収益的収入	1億3872万円	収益的支出	1億1664万円
資本的収入	513万円	資本的支出	5036万円

決算審査特別委員会に付託（閉会中の継続審査へ）

平成18年度の甲佐町の各会計決算が示され、上記のとおり金額が明らかになり、議会では、会期中の審査については、時間的に無理があるとの判断から決算審査特別委員会を設置し、その中で閉会中の継続審査として審査することに決定しました。



町道西小川島線の災害

条例案件

○甲佐町長の給与の特例条例の制定
甲佐町の財政がきびしい状況にあり、行財政改革の中で町長の給料を10%減額する条例で、全会一致で可決しました。

補正予算

○一般会計
3億5362万円の追加補正を可決しました。主なものは次のとおりです。
①財政調整基金への積立金として2550万円
②地域介護・福祉空間整

備等交付金で2000万円
③畜舎解体撤去費用（2カ所）で1350万円
④道路新設改良費に1040万円
⑤中央公民館解体費に1300万円
⑥生涯学習センター図書購入に300万円

⑦農業用施設災害復旧費に6963万円
⑧林業施設災害復旧費に3116万円
⑨道路橋りょう災害復旧費に6257万円
⑩河川災害復旧費に8973万円

②水防資材代、重機借上料等に440万円
③農林水産施設災害復旧費に3661万円
④公共土木施設災害復旧費に1607万円
⑤衛生施設災害復旧費に106万円
⑥文教施設災害復旧費に232万円
⑦その他公共施設災害復旧費に422万円

専決処分の報告及び承認

○一般会計の補正予算で7月6日の豪雨災害に伴う費用等が増額補正されました。主なものは次のとおりです。
①町議会議員の補欠選挙費用として136万円

そこが 知りたい

Q & A



グラウンドゴルフ場まで増水した緑川

9月定例会 質疑より

災害復旧事業費は

Q 受益者負担金はどのうなっているのか

A 公共土木施設災害復旧事業については受益者負担金はありません。

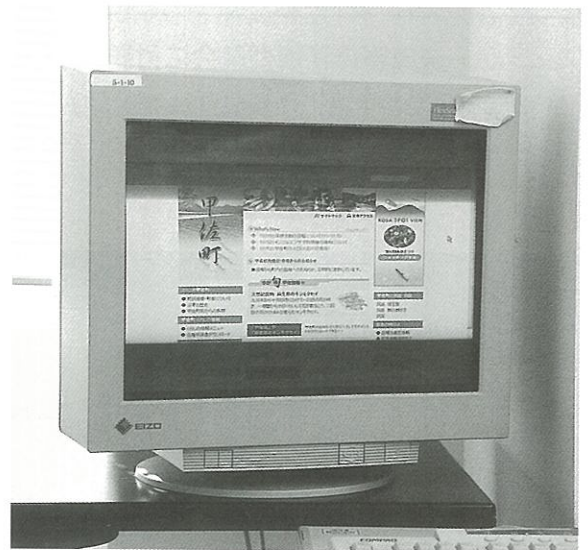
農地、農業用施設災害復旧事業については受益者負担金があります。負担金については、事業費から国、町の負担金

を差し引いた残金を受益者が負担します。負担金率については暫定災害、激甚災害で異なり、またその年の災害の程度で率が変わるので、率は変動します。

災害対策は

Q 安津橋の左岸付近は洪水でいつも浸水するが対策は

A 緑川改修、中小河川改修、遊水池等の設置が考えられます。緑



例規集をコンピュータで管理

川改修期成会を通じ国土交通省に機会あることに要望します。

甲佐町例規集のデータベース化とは

Q データベース化とは、利点は

A 現在例規集は冊子でありますが、例規集の情報をコンピュータで管理し多目的に利用できるようにすることです。利点は町の総合行政システムで検索したい条例等を職員はすぐ確認でき

ます。改正の場合には、改正箇所が複数の条例、規則、要綱に及ぶ場合でも検索すればすぐ改正箇所がわかります。そのほか多目的に利用が出来ます。データベース化して一部は冊子は残します。

マニフェストとは

Q マニフェストとはどんな意味か

A 政党や候補者が、具体的な施策、実施期限、数値目標などを盛り込み、従来の抽象的な公約と比べてその達成度合いが検証可能なものを行い、政権公約、政策綱領といえます。

国政選挙では、平成15年、地方公共団体の長選挙では平成19年から記載したビラの配布可能となりました。



乳幼児医療費の窓口無料化の拡大は

乳幼児医療費窓口無料化等は

Q 乳幼児医療費の窓口無料化の拡大、助成対象年齢の段階的引き上げは

A 窓口無料化については町内の医療機関受診分については実施していますが、医師会と協議してまず郡内に広げたい。年齢の引き上げについては前向きに検討します。



施設を利用したいちご作り

新需給システム推進事業とは

Q 新需給システム推進事業補助金が歳入と歳出にあるが説明を

A 新需給システム事業とは、これまでの地域水田事業（生産調整）のことです。これまでは、生産調整の配分、計画書の配布、回収、確認等町で行っていましたが、平成19年度からは集荷業者（JA）が行う事務と町が行う事務に分割されたため、県

補助金で受け入れ、歳出で集荷業者分は補助金で出すことになりました。事業については今後はJ

Aと二人三脚で行います。

障害児を育てる地域の支援体制支援事業とは

Q 障害児を育てる地域の支援体制支援事業とはなにか

A 障害児を育てる保護者の不安解消のため、障害児を育てた経験者との体験交流のスペースの整備及び遊具設置。

就労意欲促進事業とは

Q 就労意欲促進事業とはなにか

A 障害者の工賃収入

その他の収入を合算して、それをもとに利用者負担、食費、光熱水費を算出して負担額が決まっていますが、就労意欲を促進するため今年4月工賃控除の見直しが行なわれました。平成18年4月にさかのぼって適用した場合の差額を給付金として支給する事業です。補助は国50パーセント、町25パーセント、県25パーセント、平成19年度の一年間の事業。

議会構成も新たに

8月19日の町議会議員の補欠選挙において、宮本修治議員が当選されました。これにより、各委員会の構成が次のとおりとなりました。

総務文教常任委員会

- 委員長 西坂 親
- 副委員長 山内 勲
- 委員 本郷昭宣
- 委員 井芹しま子
- 委員 宮本修治
- 委員 中村幸男

産業厚生常任委員会

- 委員長 本田 新
- 副委員長 北畑常博
- 委員 渡邊俊一
- 委員 緒方哲哉
- 委員 宮川安明

議会運営委員会

- 委員長 山内 勲
- 副委員長 渡邊俊一
- 委員 西坂 親
- 委員 本田 新

一般質問 と答弁



ここが

聞きたい



下校中の小学校児童

北畑 常博 議員

児童の遠距離通学の見通しは
実施の方向で十分検討したい

北畑常博議員

小中学校の環境という
ことで、児童の遠距離通
学の今後の見通しはど
うですか。

溜瀧教育長

児童生徒の登下校時
におきます安全確保のため、
特に遠距離通学生のため
は、路線バスをスクール
バスとする通学の方法と
いうのが、一つの有効な
方策であると考えていま
す。



今現在、県の教育委員
会、熊本バス等の関係機
関と国・県からの補助に
ついて協議中です。今後
とも実施の方向で十分検
討したいと考えています。

今後の町政についての考えは
住民参加型による町づくりを進める

北畑常博議員

甲佐町の今
後の町政につ
いて、町長の
考え方を聞き
ます。

奥名町長

人口が年々
減少し、また
65歳以上の高
齢化率は32%
を占めるよう
になってきま

した。その他全国的な地
域格差等を生じていまし
て、本町においても例外
ではありません。

よって、限られた貴重
な財源を有効に使用して、
住民参加型による町づく
りを進めていくという基
本的な考えを持っていま
す。

※その他町道中横田鶴線
の進捗状況の質問があり、
建設課長から用地交渉に
おいて、なかなか同意が
得られないとの答弁があ
りました。



今年の米価は

金の取れる農業政策は
農業戦略を立て、有効策を検討する

北畑常博議員

わが甲佐町は、昔は農
業の町と言われていまし
た。国の施策で集団化と
言われますが、集団化し
た農業政策を検討し、基
本的な堆肥作りを行い、
有機栽培をして、米で1
俵2万5000円、3万
円という金が取れる政策
を考えていただき、職員
にもそういう勉強をさせ、
指導的な役割を果たすよ
うに要望します。

奥名町長

今年度から品目横断的
経営安定対策が始まりま
した。農用地の利用集積
並びに担い手育成の推進
への取り組みがようやく
始まった感じがします。

ただ、担い手農家に満
たない農家への対策は、
なかなか有効的な手段が
見出せず、今後は農業戦
略を立てながら、有効策
を検討しなければならな
いと感じています。

井芹 しま子 議員

議員の町税滞納問題にどう取り組むのか

法にのっとり議員の特別扱いほしない

井芹しま子議員

奥名町長

町議の町税滞納問題への対応は、傷つけられた行政の信頼回復の試金石と考えます。町長は、この問題にどう取り組みますか。

議員への特別扱いはしません。支払い計画書の提出に基づいて、定期的な返済を願う他、歳費等の差し押さえも行っています。

七・六豪雨災害の被害対策は

井芹しま子議員

松永総務課長

町の被害状況は

農地、農作物の被害など6億1469万円です。



7月6日 船津野仲商店裏の水害

被災者に対する援助制度は、村上福祉課長の町の災害弔慰金の給付に関する条例により、災害弔慰金、災害援助金の貸付制度があります。井芹しま子議員 農地災害について、町独自に

援助制度が必要ではないですか。

奥名町長

今後、国の補助にかからない場合については、受益者負担等のことも併せて検討していきます。

井芹しま子議員

緑川ダムの放流は、町

同和对策事業の抜本の見直しを

井芹しま子議員

33年に及んだ同和对策の特別法は平成14年に終了しました。甲佐町でもこれまでの同和地区への特別扱いをやめ、一般行政へ移行すべきではないですか。

奥名町長

国の法律は失効しましたが、不安定就労や進学格差などの問題が残されており、今後、同和問題の解決に向けて施策の効率的、効果的な再構築に努めます。

後期高齢者制度での保険料負担は

井芹しま子議員

後期高齢者医療制度の保険料負担は

福永住民生活課長

全市町村が加入する広域連合において、11月には決定されます。保険料は、医療費が全国平均より高い熊本県では、全国平均の7万4400円より高くなると予想されます。

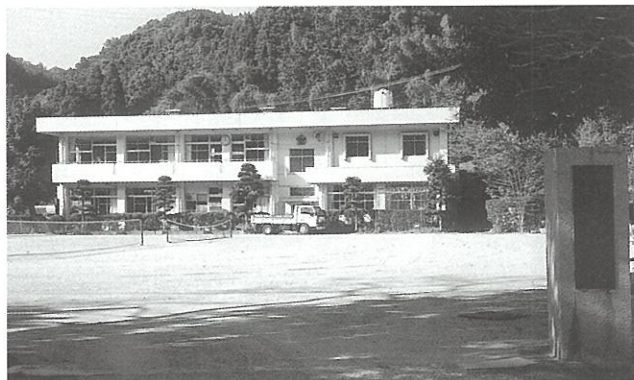
宮内・甲佐小の統合はあくまで住民合意で

井芹しま子議員

宮内・甲佐小の統合問題は、地元住民の合意を得ないまま強行することは許されません。あくまで住民合意と納得を。

奥名町長

地域活動の拠点準備、総合的な地区の活性化と併せて理解を図ります。



宮内小学校の統合問題は

年金滞納での国民健康保険証取り上げは見送りを町としては、実施は困難

井芹しま子議員

社会保険庁改革関連法による、年金保険料滞納者への国民健康保険証の取り上げは見送るべきではないですか。

は実施は困難と考えます。※その他、財政問題・入札制度についての質問がありました。

奥名町長

国民年金と国民健康保険は制度が別ものであり、国民健康保険の円滑な運用のためにも、町として

山内 勲 議員

どういう政策で町民参加型の町づくりを目指すのか
住民対話と協働の町づくりの精神で

山内勲議員

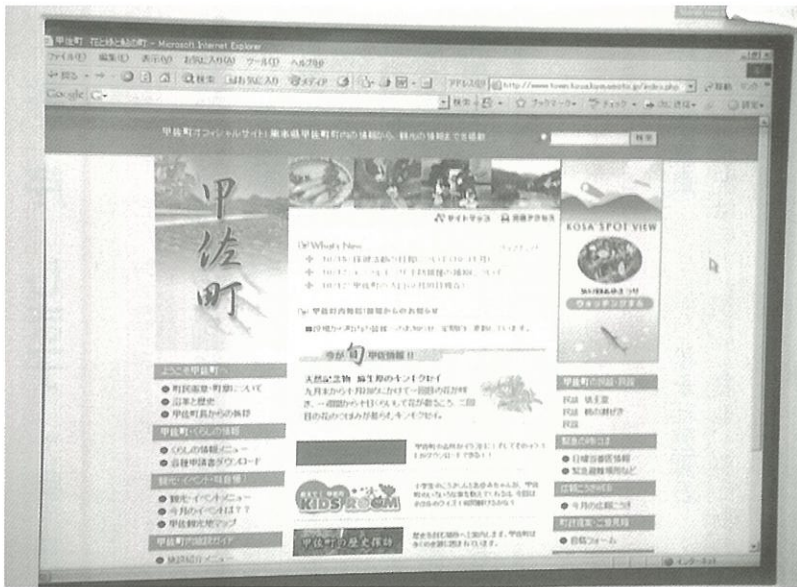
住民参加型の町づくり

ということ、どういった手法、どういった政策をもって、町民と一体となった町づくりを目指すのか。

奥名町長

住民対話と協働の町づくり

の精神という考えで、町政情報を積極的に提供するため、ホームページを充実させます。それと共に、町政座談会を考え



甲佐町のホームページ

ています。その実施の方法については検討中です。

更に、政策提案制度については、町民の皆さんの考えを行政に活かすと言う考えで、インターネットや提案用紙の投函などの方法を考えています。

その他に、住民満足度と納得度を上げたいという気持から、住民意向調査を実施したり、幅広い意見を各委員会などに反映させるため、女性層や青年層の登用を積極的に働きかけていきたいと考えています。

能力のある人材の登用、つまりエキスパート職員の登用では、民間から期限付きの専門職を登用し、最小の経費で、効率的に事業の完成を見たい考えです。



行政改革プランをどのように考えるか
引き続き実施する

山内勲議員

町の財政の健全化ということ、本町は、現在、

国が進める三位一体の改革による補助金、負担金の削減、地方交付税の大幅削減などで、非常に厳しい状況下です。平成18年3月に策定されました、

集中改革プランは21年度までの5年間となっていますが、この行政改革プランについて、町長はどのように評価し、どのように考えていますか。

奥名町長

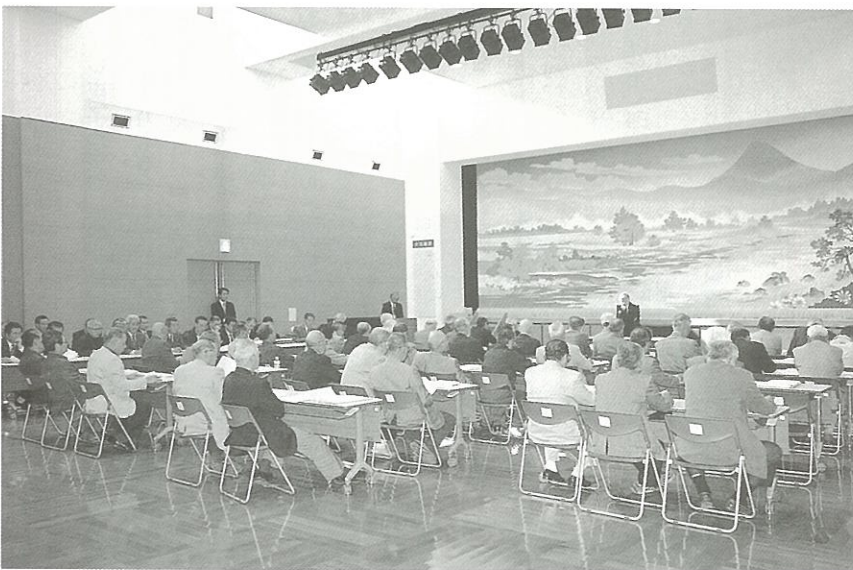
基本的に行革プランを引き続いて実施して行かなければなりません。そうすることにより、一層の財政の健全化に取り組むことができると考えます。

今回、町長の報酬のカットを提案していますし、職員の定期採用については、年齢構成がきちんと行くように、少なくとも最低限の人数は採用しながら、集中改革プラン

ンによって、職員数の削減計画をやっていきます。

また、時差出勤などを取り入れ、時間外手当の削減とか、指定管理者制度の導入により、人件費の削減を考えています。あと、各種団体、例え

ば行政区ですとか、小学校、消防団そういう組織再編については、宮内小学校の問題もありますので、実施にあたっては、関係者と十分コンセンサスを得ながら、検討していかねばならないと思います。



行政区の再編は (昨年の嘱託員会議)

宮内小学校の統廃合問題の

破棄に関する陳情書

総務文教常任委員会に付託

9月5日に、宮内小学校保護者代表 P T A 会長の鎌田桂一郎氏、宮内校区住民代表 区長会長の園田豊氏から『宮内小学校の統廃合問題の破棄に関する陳情書』が356人の署名と共に提出されました。甲佐町議会では、9月定例最終日に、



議長室での陳情

引き続き、産業厚生常任委員会で継続審査

6月定例会において、継続審査となりました『船津農免農道延長についての陳情』は、7月20日、9月12日の2回の審議、調査を行いました。甲佐町・美里町農免農道

船津農免農道の延長に

ついでにの陳情



7月20日産業厚生常任委員会の現地調査

平成19年第1回定例会において付託された『平成12年度町道大町塔ノ木線排水路工事に伴う建物補償の調査』の事件について、委員長から7回にわたって審議、調査した経過の概要が報告されました。

まず、事件の経緯から報告があり、その後、証人の方々の証言について述べられ、最後に次のとおりまとめの報告がありました。

「以上、町執行部は、このような重大な事件が起きた場合の危機管理体制が不十分だったことも問題であります。今後またこのような事件が起こらないとも限らないので、これを教訓に担当課だけに任せるのではなく、町長が全責任をもって、平成13年6月1日に設置された甲佐町公共工事事故対策委員会と十分に協議・検討を行いながら事

建物補償調査特別委員会

委員長報告

この報告の後、井芹議員の「賠償金について、町と業者の責任割合が曖昧にされ、かつ、今回の事故は、明らかに予定をしておかない過失による事故への損害賠償事件であり、地方自治法により議会の議決を要するものであるから、本議会で議決、承認なしに支出された不当な公金支出である。」との反対討論が行われましたが、裁決は賛成9反対1で委員長の報告のとおり決定しました。

傍聴寮がら一言

「自然環境を大切に」

糸田 本田 三十六

最近、沖縄でさんご礁の白化現象が伝えられました。私は最近定年退職し、生まれ故郷の甲佐町に帰って暮らし始めました。趣味で家庭菜園や自然観察などをやっていますが、田んぼや畑に昔いた小動物が見えなくなったものがあります。道端にはどこにでもいた山かがし（あずきへび）、とのさまがえる、ひきがえるなどほとんど見かけません。ひばりも数が少なくなっています。蛸もどこかに出かけていかなければ見られません。また、しまへび、あおだいしようなが増えています。緑川にも川鵜など昔見かけなかった鳥も増え、水も汚れているように見えます。甲佐町も確実に生物体系が変わっているようです。

今、地球温暖化などが言われ、工場や車の排ガス規制などが言われていますが、身の回りの生物の変化は、小川はコンクリートで固められ、農道も舗装されています。人間の生活条件は良くなりましたがこのことが将来を含めた人間に影響が無ければよいのですが。甲佐町は自然が売り物です。母なる川、緑川の水をきれいに、美しい自然環境を子孫に残さないといけないと考えています。

甲佐町では、今年2月には議員選挙、8月には町長選挙が執行されましたが、執行部、議会はそれぞれの責務をまっとうされ、町の発展策を見出しでもらいたいと思います。また町民も積極的に町政に参画し、執行部、議会、町民が一体となって希望の持てるすばらしい甲佐町づくりを願うものです。

議会広報編集特別委員会 鹿児島県蒲生町に学ぶ

議会広報編集特別委員会は、7月4日に鹿児島県蒲生町の議会広報について研修を行いました。

蒲生町の議会広報は、現在152号を重ね、平成18年の全国町村議会広報全国コンクールにおいて入選を果たされた全国的レベルの高い広報紙です。編集には、印刷業者も会議に加わり、オール・カラーで町民からも読みやすいとの評判だそうです。校正には3日間と十分な時間をかけておられます。また、議会事務局職員も今はノータッチで、すべて議員が作られています。議員だけで技量、研さんを重ね、取材・写真撮影・編集・校正を行い、今は



蒲生町での広報研修

議員全員が、広報紙が出来上がるのが楽しみだということでした。今回の研修を生かし、読み手の立場に身を置くことが議会広報の原点であることを再認識しました。

御船町甲佐町衛生施設組合の組合議会議員の補欠選挙

空白となっていました御船町甲佐町衛生施設組合（ごみ処理）の組合議会議員に渡邊俊一議員が選出されました。

農業委員の推薦

9月25日に、宮内校区の10人の区長さんから、農業委員の推薦においては、宮内校区下地域（小鹿・井戸江・安平・上揚）の住民から推薦してほしい旨の陳情が提出されましたが、28日の本会議において、農業委員に宮川安明議員を推薦することについては、賛成8人、反対2人で可決しました。

門内 巧議員のご逝去を悼み お悔やみ申し上げます



本町議会副議長の門内巧氏が、去る十一月一日に死去されました。同氏は、平成十五年に初当選、平成十九年には二期目の当選により、副議長に推挙され、産業厚生常任委員、議会運営委員など甲佐町議会のリーダーの一人として活躍中でありました。議員一同、心からご冥福をお祈りいたします。

議会広報編集委員会

- | | | | |
|------|-------|----|--------|
| 委員長 | 本田 新 | 委員 | 宮川 安明 |
| 副委員長 | 本郷 昭宣 | 委員 | 井芹 しま子 |
| 委員 | 緒方 哲哉 | | |